

令和3年度アクション・プラン【淡路県民局】

I 目指す姿

世界が憧れる魅力あふれる淡路島

「ワールドマスターズゲームズ2021関西」や「大阪・関西万博」開催等を見据え、淡路島の多様な資源を活かし、世界の人々から選ばれる魅力づくりを進める。

また、住み続けたいくなる豊かな暮らしが将来にわたって持続できる地域の実現を目指す。

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

K P I	目標設定の時点	R2	R3	R4	R5	R6
観光客入込数		1,373 万人	1,435 万人	1,500 万人	1,525 万人	1,550 万人
	1,257 万人(H30)	—	—	—	—	—
淡路島産食材を提供する「こだわり宣言店」登録店舗数		95 店舗	110 店舗	125 店舗	140 店舗	150 店舗
	79 店舗(R1)	82 店舗	—	—	—	—
淡路島への年間移住人数 (「あわじ暮らし総合相談窓口」を利用)		150 人	165 人	180 人	190 人	200 人
	123 人(H30)	121 人	—	—	—	—

II 対応の方向性

1 地域の元気づくり

「大阪・関西万博」の開催等により、国内外から大阪湾ベイエリアを訪れる観光客の増加が見込まれることから、誰もが利用しやすい公共交通の整備や食を中心とした周遊・滞在型ツーリズムの推進などにより、淡路島への誘客を促進するとともに、食を活かした地域活性化の取組を進め、豊かな暮らしが将来にわたって持続できる元気な淡路島を実現する。

2 人口対策

高校卒業を機に島外に転出する若者が多いことなど、人口減少が続くなか、U J I ターンを促進するとともに、ふるさと学習の推進や鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた取組など、ふるさと意識の高揚を図る施策を積極的に展開し、島民が誇りに思い住み続けたいくなる、島外の人々が住みたいくなる魅力ある淡路島づくりを進める。

Ⅲ 具体的な取組

1 地域の元気づくり

(1) 交流人口の増加

ア 地域資源を活かした観光振興

淡路島の多様な観光資源を活かし、ターゲットを明確にしたプロモーションを展開し、国内外からの誘客を促進する。

【主な事業】

- ① ウェルネストラベルの促進《新規・2,614千円》
 - ・ 「ウェルネストラベル」や「ワーケーション」の実証、受入セミナーの開催
- ② 関西圏・首都圏向け誘客キャンペーンの展開《拡充・7,558千円》
 - ・ インフルエンサーによる観光情報の発信、YouTube等での観光動画の放映

イ 自家用車なしで巡る淡路島の実現

公共交通の維持、利便性向上を図りつつ、観光客にとっても利用しやすい公共交通の実現を目指す。

【主な事業】

- ① 「守り、育てる」地域公共交通の展開《拡充・12,500千円》
 - ・ 淡路島公共交通拠点の開設、携帯アプリでのバス企画乗車券の発行支援

ウ 「食の島」あわじの実現

淡路島産食材のブランド化と島内の地域資源を組み合わせたツーリズムを推進し、食を活かした地域活性化を図る。

【主な事業】

- ① 食を中心とした地域づくりの推進《新規・4,491千円》
 - ・ 食の島あわじに関する調査・検討、オーベルジュの誘致支援
- ② 食が堪能できる環境づくりの推進《拡充・14,886千円》
 - ・ 天然真鯛の新ブランドプロモーション、「こだわり宣言店」の募集・PR
- ③ 「御食国淡路島」推進戦略の展開《拡充・3,500千円》
 - ・ 「御食国・和食の祭典 in 淡路島」の開催、淡路島産食材の海外プロモーション
- ④ 「ベジタブルアイランド」の推進《拡充・1,600千円》
 - ・ 島サラダ企画のPR、周年供給に向けたハウス等の整備支援

エ スポーツアイランド淡路島の推進

自然豊かな淡路島の魅力を活かして、多様なスポーツの楽しみ方を提案し、滞在型ツーリズムの促進を図る。

【主な事業】

- ① 「淡路島ロングライド150」の開催《4,914千円》
 - ・ 淡路島を1周（約150km）するサイクルイベントの開催
- ② 「アワイチ」魅力アップの推進《拡充・ー》
 - ・ 県道の路肩拡幅等による走行環境の整備、案内標識や休憩施設の整備

(2) 淡路島を支える産業の振興

ア 農畜水産業の振興

先端技術の導入による生産効率の向上等により、農畜水産物の安定供給、産地の活性化を図る。

【主な事業】

- ① 淡路島たまねぎブランド力向上《拡充・790千円》
 - ・ 生産者等を対象としたGAP研修会の開催、たまねぎ小屋の乾燥技術の継承
- ② 「淡路島の花」産地力アップの推進《拡充・1,280千円》
 - ・ 花き安定生産のための新技術の導入支援、消費地でのPR活動の支援
- ③ 淡路畜産活性化対策の推進《拡充・2,800千円》
 - ・ 和子牛の暑熱・寒冷対策支援、育成牛預託の推進による牛乳の安定生産支援

イ 農畜水産業の生産基盤の強化

「食の島」を支える農畜水産業の生産基盤強化を推進する。

【主な事業】

- ① 北淡路 先端ファームの形成《2,370千円》
 - ・ 未利用の集団農地を対象に先進的な営農を計画する参入企業を公募
- ② 淡路島農業の持続的発展に向けたほ場整備事業の推進《－》
 - ・ 営農形態や地域の実情に応じたほ場整備の推進
- ③ 広域農道（オニオンロード）の整備推進《－》
 - ・ 南淡路地域の農産物の輸送ルートと農村生活環境基盤の一体的整備
- ④ 漁業生産基盤の機能保全《－》
 - ・ 水産物の安定供給を図るための漁港施設・海岸保全施設の整備

ウ 商工業の活性化

伝統的な地場産業の情報発信等の取組や商店街のイベント等に対する支援を通じ、商工業の活性化を図る。

【主な事業】

- ① 地域産業魅力アップの支援《拡充・2,800千円》
 - ・ 淡路瓦・線香・手延素麺の産地組合が行う広報・販売促進活動の支援
- ② 商店街の活性化支援《－》
 - ・ 商店街が地域一体で取り組むイベントや先導的活性化事業の支援

(3) すこやかな暮らしの持続

ア あわじ環境未来島構想の推進

「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」を3本柱とした取組を進め、『生命つながる「持続する環境の島」』の実現を目指す。

【主な事業】

- ① 竹資源を活用した新たな土壌改良材による景観の保全《新規・5,500千円》
 - ・ 「竹混合ファイバー」の導入による農地・道路等の維持管理に向けた実証

- ② 「EVアイランドあわじ」の推進《拡充・4,950千円》
 - ・ 島内の自動車教習所を対象とした電気自動車(EV)の導入支援
- ③ エネルギーの地産地消の促進《拡充・7,200千円》
 - ・ 太陽光発電設備が設置されている住宅への家庭用蓄電池等の導入支援

イ 地域再生大作戦の展開

地域の自主的・主体的な取組による賑わい創出や活性化、定住等を促進するため、コミュニティ再生等の取組を支援する。

【主な事業】

- ① 「がんばる地域」交流・自立応援事業《一》
 - ・ 地域が自主的に企画・提案する地域活性化のための取組の支援
- ② 小規模集落起業促進事業《一》
 - ・ 小規模集落等が地域おこし協力隊等外部人材と連携して行う起業化の支援

ウ 地域づくり活動の促進

地域団体が参画と協働のもと地域社会の共同利益の実現を図る取組を支援し、地域団体相互の連携を強化するとともに活力と魅力ある地域づくりを目指す。

【主な事業】

- ① 地域づくり活動の支援《3,666千円》
 - ・ 活力と魅力ある地域づくりのため地域団体が行う先駆的・モデル的な取組の支援

(4) 安全・安心な島づくり

将来発生確率が高まる南海トラフ地震や近年多発する大規模自然災害に対する備えを着実に進めるなど、くらしの安全・安心を確保する。

ア 自然災害への備えの充実

【主な事業】

- ① 大規模自然災害の発生に備えた地域防災力の向上支援《拡充・3,490千円》
 - ・ 小中高校生を対象とした「学ぼう災教育」の実施、マイ避難カードの作成促進
- ② 津波防災インフラ整備計画の推進《一》
 - ・ 重点整備地区(福良港、阿万港、沼島漁港、洲本地区)での防潮堤・水門等の整備
- ③ 治水・土砂災害対策の推進《一》
 - ・ 三原川流域の浸水対策や土砂災害対策の実施
- ④ 淡路島の農業を支える安全・安心なため池整備の推進《一》
 - ・ ため池の危険度や緊急度に応じた計画的な整備・統廃合の実施
- ⑤ 農業用ダム・ため池・水田を活用した総合治水対策の推進《拡充・1,830千円》
 - ・ 農業用ダムの治水活用に向けた利水者との合意形成

イ 生活の安全・安心確保

【主な事業】

- ① 生活や交流を支える道路づくりの推進《一》
 - ・ 幹線道路の整備、緊急性の高い通学路の歩道整備や渋滞対策の実施

2 人口対策

(1) 住み続けたくなる淡路島づくり

ア ふるさと意識の醸成

ふるさと学習や「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組等を推進することにより、住民が誇りに思い住み続けたくなる島づくりを進める。

【主な事業】

- ① 「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた取組の推進《拡充・20,000千円》
 - ・ ノルウェー等の海外類似資産の共同研究・調査、学術講演会等の開催
- ② 淡路人形浄瑠璃の魅力発信《5,930千円》
 - ・ 島外公演(西宮・東京)の開催、後継者団体の交流会・発表会の開催
- ③ 淡路ふるさと学習の推進《1,850千円》
 - ・ 小学校5・6年生を対象としたふるさと学習の実施

(2) 淡路島への定住促進

ア 地元就業の促進

地元での人材育成の取組や農業の担い手の育成支援等により、若者の地域定着を図る。

【主な事業】

- ① 地域に根ざした多様な人材育成・はたらく場所の確保《900千円》
 - ・ 淡路島就活EXPO、ふるさとJOBフェアin淡路島の開催、ホームページの運営
- ② 農の担い手の育成支援《3,804千円》
 - ・ 新規就農を促進するための初期投資費用の支援、経営分離・独立の支援

イ 都市住民の移住促進

定住人口の増加を図るため、移住希望者に淡路暮らしの情報提供等を行う相談窓口の充実等によって、都市住民の転入促進を図る。

【主な事業】

- ① 都市住民の転入促進《拡充・7,700千円》
 - ・ 「あわじ暮らし総合相談窓口」の運営、移住リモートツアーの実施

(3) 生涯現役！あわじ健康長寿の島づくり

ア 健康長寿の島づくり

誰もが、いきいきと安心して暮らせる島づくりを目指し、栄養・運動・社会参加を3本柱とした取組を進める。

【主な事業】

- ① 生涯現役！あわじ健康長寿の島づくり《2,174千円》
 - ・ 健康長寿に向けた調査・分析・取組の検討、健康長寿に関する講演会の開催
- ② 高齢者就労対策の推進《700千円》
 - ・ シニア向け就職面接会の開催、高齢者雇用の企業向けセミナーの開催